

演出家的発想法を導入した
「小学生向けくすりの適正使用啓発教材」による
啓発活動の実施と教材活用促進ツールの作成

日本大学 薬学部 薬剤師教育センター 准教授

あべ めぐみ
安部 恵

演出家的発想法を導入した「小学生向けくすりの適正使用啓発教材」による啓発活動の実施と教材活用促進ツールの作成

日本大学薬学部薬剤師教育センター 安部 恵

【要旨】

日本大学薬学部薬剤師教育センターと茨城県薬剤師会学校薬剤師部会では、2019年度より小学生向けの医薬品適正使用教育啓発を目的とした教材の開発に着手し、2020年度末に2種類のパワーポイントスライドが完成した。今まで多く行われてきた「どうあるべきか」を「論」で語る「正しいことをきちんと伝える」方法から脱却し、行動変容をできるだけ高い確率で引き起こす伝わる伝え方、健康番組制作の視点から健康教育に求められる演出家的な発想法を学んだ後、開発を開始し、今までにない子どもの視線を釘付けにする画期的な教材となった。

今回はこの教材のうち、複数演者用として開発した教材「勇者ジョーザの冒険」を活用した普及啓発活動を行う。また、初めて医薬品適正使用啓発教育を実施する際にも手軽に着手できるよう教材活用促進ツールを作成する。

1. 啓発事業等目的

1-1 啓発活動の実施

1) 小学生親子を対象とした「夏休みくすり教室」の開催

医薬品リテラシーの向上は全ての世代に求められることから、薬剤師会会員による小学生親子を対象とした「夏休みくすり教室」を開催する。本教材の基本方針で「くすりの実験」は実際に参加者に体験してもらうこととしているが、今般の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、撮影済みの実験動画にて代用する。薬局、薬剤師に求められている「健康サポート」の機能の1つとして今後の活動促進に向けた一歩ともなり得る。

2) 学校薬剤師による担当校での「くすり教室」の実施

学校薬剤師は大学を除く全ての学校に配置されている。その学校薬剤師一人ひとりがより積極的に「くすりの適正使用に関する教育」を実施できれば、その影響力は大きく、今後ますます活躍が望まれる学校薬剤師による保健教育活動促進に向けた一歩となる。この際、薬学実務実習中である薬学生も参画させることにより、将来のくすりの適正使用教育担当者を育成することも併せて目的とする。

1-2 教材活用促進ツールの作成

1) 教材運用「台本」の作成

パワーポイント教材を活用する薬剤師がより手軽に教室を実施できるよう「台本」を作成する。児童生徒を引き付けるセリフや間をとり入れた「台本」の完成を目指す。

2) 教室動画映像教材作成

教室を初めて開催する薬剤師が教室の雰囲気把握でき、安心して教材を活用した教室を開催できるよう、上記 1-1「啓発活動の実施」の際に実際の教室の様子を動画撮影し映像教材とする。

3) 教材プロモーション動画制作

演出家的発想を導入した新たな教材の「プロモーション動画」を制作する。この動画は、教材を活用した健康サポート活動の実施を検討する薬剤師や、地域のイベント企画者、小学校教職員、PTA 等に向けて活用するものであり、数十秒の中に教材の魅力を盛り込む。このプロモーション動画は、第 54 回日本薬剤師会学術大会において、(一社)くすりの適正使用協議会の発表時間内で活用し教材の紹介にも役立つ。

4) 簡易衣装製作

「勇者ジョーザの冒険」の登場人物に合わせた簡易衣装を日立高等技芸専門学校の協力の下製作する。学校薬剤師が担当校でのくすり教室の際に活用するだけでなく、薬局が実施する地域住民対象の健康フェアのような取組みなど、広く地域で活用することを目指している。この衣装を活用することで、くすり教育のイベント性を高め、より子どもたちの興味を引き付けることが期待できる。

2. 啓発事業等実施内容および成果

2-1 啓発活動の実施

1) 小学生親子を対象とした「夏休みくすり教室」の開催

当初、令和 3 年 8 月 9 日(月・祝)に茨城県薬剤師会館 3F 大会議室にて実施予定で準備を進めていたが、8 月 3 日に 8 月 6 日より茨城県独自の緊急事態宣言が発令されることが判明したため、親子の参集は中止し動画の撮影のみ実施した(写真 1,2)。対面ではなく、対象児童の理解度の確認が困難なことから、急遽くすりの実験から理解したことなどをまとめる「ワークブック」を作成した(資料 1)。動画撮影当日は、茨城新聞、茨城放送の取材を受け、8 月 13 日の茨城新聞に記事が掲載され(写真 3、https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=16288544680232)、8 月 20 日の Lucky FM 茨城放送 CONNECT CHANNEL で当日の様子が取り上げられた。また、参加予定であった親子のうち、希望のあった家庭へ「実験セット」「ワークブック」を送付し、撮影したくすり教室動画の視聴と併せて実験の体験をしてもらうことで「親子くすり教室」を代替した。併せて体験時の様子や

感想を寄せてもらい、今後実施する際の改善計画を立てるための資料とした(資料4)。

2) 学校薬剤師による担当校での「くすり教室」の実施

当初、報告者の担当する松戸市立南部小学校で本教材を用いた「くすり教室」実施を計画していたが、感染状況の先行きが不透明であったため、より早い時期に実施可能と判断された、茨城県牛久市立奥野義務教育学校にて実施することとした。9月30日(木)13:25より、担当学校薬剤師の近藤恵都子氏が当該教材を使用した「くすり教室」を実施した。対象は6年生33名で、くすり教育実施者として、近隣校担当の学校薬剤師1名、薬学実務実習中の薬学部5年生2名、当該学校の養護教諭1名、対象児童のクラス担任含む教員2名の協力を得て実施した(写真4,5)。感染拡大防止の観点から、対象児童は体育館内で間隔をとって着席し、くすりの実験も1人1セット準備して実施した(写真6,7)。

2-2 教材活用促進資料の作成

1) 教材運用「台本」の作成

「台本」の作成は、茨城県薬剤師会学校薬剤師部会の協力を得て複数回のチーム打ち合わせ(ZOOM)、メール会議を経て、夏休み親子くすり教室前の完成を目指し、8月8日に完成した。この台本もくすりの適正使用協議会ホームページ上で公開し、普及啓発に役立っている。(資料2,3、<https://www.rad-are.com/items/#close-modal>)。

2) 教室動画映像教材作成

動画の撮影は、「夏休み親子くすり教室」、「牛久市立奥野義務教育学校くすり教室」実施時に行い、両日の教室の様子を1枚のDVDにまとめた。動画が視聴される場面に合わせた運用を鑑み、90秒、15分、オリジナルバージョンの3パターンを収録した(写真8)。このDVDは茨城県薬剤師会へ寄贈し、希望会員へ貸出を行っている。

3) 教材プロモーション動画制作

茨城県筑西市在住の動画クリエイターに依頼し、1分43秒のプロモーション動画を制作した(<https://youtu.be/-zmayAwwlGw>)。この動画は第54回日本薬剤師会学術大会において、報告者が所属する(一社)くすりの適正使用協議会の発表時間内で教材の紹介資料として活用した。現在もくすりの適正使用協議会ホームページ上で公開し、教材の普及啓発に役立っている。

4) 簡易衣装製作

当初の予定通り製作の内諾を得ていた日立高等技芸専門学校の協力を得て、登場人物6体分の衣装が完成した(写真9)。この衣装は、夏休み親子くすり教室、牛久市立奥野義務教育学校でのくすり教育の際にも活用した。今後は茨城県薬剤師会学校薬剤師部会にて管理し、くすり教育を実施する会員へ貸出し活用する予定である。

3. まとめ

本啓発事業において当初計画していた啓発活動、教材活用促進ツールの作成は、感染拡大の状況を鑑み実施方法の変更を余儀なくされたものの、本来の目的から逸脱することなく無事実施できた。今後も完成したツールの有効活用、啓発活動の継続実施、時代の変化に合わせて創意工夫を重ねながら、全ての世代における医薬品リテラシーの向上を目指し取り組みたい。

4. 写真、及び資料

写真1



写真2



資料1



写真3



写真4



写真5



資料 4 家庭でのくすり教育啓発動画視聴、くすりの実験体験の様子、感想

<p>2021/8/21 13:03:46</p>	<p>とても楽しく実験をしていました。 薬を正しく飲まなくてはいけない事も分かりやすく、子ども自身が気を付けようと学んでいました。ただ最後のページのコップ何杯の水で薬を飲めばいいか、大型すり模型を〜の件で、動画に出て来なかったので、子どもは混乱していました。 問題に出すのであれば、動画内または付属の説明文内に書いてあると良いなと思いました。</p>	
<p>2021/8/22 17:36:00</p>	<p>楽しみにしていたので、中止になってとてもガッカリしていたので、キットを送っていただき喜んでいました。 薬を飲む時にお茶でいいよね?等と聞かれた時に水で飲むようには言いましたが、理由まで説明していなかったため、今回納得していました。ありがとうございました。</p>	 
<p>2021/8/22 18:10:16</p>	<p>動画はアニメで分かりやすく、楽しかった。実験キットは、簡単に楽しく実験できて楽しいです!麦茶は色が変わらなくてビックリしました!お茶の種類によって色が変わるか変わらないかが違うなんて知らなかった!!</p>	
<p>2021/8/22 22:17:00</p>	<p>今まで教室のご連絡や実験キットの配送等、ご丁寧に進めていただきまして、ありがとうございました。 21日に実験キットが届き、楽しみにしておりましたので、直ぐに開封し、動画と共に教室を受講させていただきました。小5と、小2の息子達は、とても熱心に実験に参加し、結果に対してとてもよい反応をしておりました。 動画が終わってしまった後もしばらく実験キットを用いていろいろなパターンで混ぜてどうなるか調べていました。 とても楽しかったようなので来年も参加出来るといいなと思いました。本当にありがとうございました。</p>	
<p>2021/9/6 10:32:00</p>	<p>今般、送付頂きました、親子くすり教室の実験を行いました。 画像がアップロードできないため、こちらのメールへ感想を送らせて頂きます。なお、キットは、一人でやるには余りあるようでしたので、本人(小学6年生)の他、小学2年生の妹と一緒に、家族で実験しました。 感想等は、以下の3点です。 ①同包されている物の個数などが書かれた用紙が入っていなかったため、内容物や個数の確認ができなかった点が残念でした。(開封した際には、内容物を必ず確認するよう言っているため。) ②動画を止めながら、自分たちのベースで実験や考察が行えたのが良かったです。(しかしながら、他の人の意見や感想が身近に聞ける方が、お互い刺激になることを考えると、イベントの中止は残念です。) ③動画も資料も、とても分かり易く、楽しく実験しておりました。 (記入用紙も、書き込みがし易いようにできており、じっくり読み進めていました。) イベントは中止となったものの、今回のように、自宅で実験ができるような環境を整えて下さったことに、とても感謝しております。ありがとうございました。 母</p>	